

佛母寺だより 第7号

発行・佛母寺 〒299-1601 富津市田倉942-13

住職・松原覚樹

Tel:0439-37-2336 Fax:0439-37-2378

上記につながらない時は Tel:03-3451-1853; Fax:03-3451-6094

Website:www.butsumoji.com

ご挨拶

春色の候、日の光、雲のようすには春らしさを感じられ、心までうきたつ思いがいたします。檀信徒の皆様には於かれましては如何お過ごしでしょうか。

3月5日・6日、佛母寺総代の藤村 薫氏にご招待いただきまして、米国ロサンゼルスにおいて、南カリフォルニア・モラロジー事務所主催による講演会にて、「禅のこころ・日常に活かす禅のおしえ」をテーマに講演させていただきました。講演は英語と日本語で行い、両日ともに研究者や禅・仏教の実践者、ロサンゼルス在住の日系人や邦人、学生など、大変多くの方々に参加されました。佛母寺として初めてのアメリカでの伝道活動でした。大きな初めの一步になりました。この大変貴重な機会をいただきまして、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。また、当日までの事前準備で大変お世話になりましたジュピターコーポレーションUSAの皆様に、ここに厚く御礼申し上げます。

「絶対に学問から離れないように」「宗教・宗派を超えた視野をもって伝道するように」「伝道は年中無休であるように」— 祖父泰道と父哲明がいつも私に語り続けた「三ように」の実践の言葉です。夏と冬年二回の帰国のときには、両師から必ず「収穫は？」と尋ねられました。収穫とは近況報告のことでした。2000年から約10年間、定例となった二人との年二回の対談は、刺激ある情報・意見交換であり、また厳しい論しと激励に充ちていました。両師の言は、「これからの仏教者と宗教活動」を創造するうえで大変建設的なものになりました。その中でも「三ように」の実践は、私のアメリカにおける仏教伝道の指針になり伝道活動を支える糧となっています。

お彼岸です。生前に伝えることができなかつた感謝の念をうかべつつ、皆様と共に祖父母そして父、ご先祖に手を合わせたいと思います。

佛母寺住職 松原覚樹

春季彼岸会ご案内

以下の通り、春彼岸法要を厳修致します。多数ご参拝下さいますよう、謹んでご案内申し上げます。

3月20日（日曜日）午前11時より

春季彼岸法要 了じて法話

供養料：6,000円

塔婆代：3,000円（一本：連名は二名まで）

塔婆のお申込みは彼岸会前日の19日まで受け付けております。電話やFAX・メールなどで、お申込み下さいますようお願い致します。

佛母寺春の茶会のお知らせ

立春を迎えて、鹿野山も菜の花の香りに包まれる季節がやってまいります。参道の桜や桃も開花の準備をしております。

花を愛でながらお茶の会をお楽しみいただきたいと思います。

ご都合をつけて是非御来山いただけたらと存じます。

佛母寺水月会

薄茶席・立礼席・点心席

日時：平成23年4月2日（土）午前10時30分～午後2時30分

会費：7,000円

連絡先：龍源寺 03（3451）1853

申し込み締切：平成23年3月25日（金）

UC バークレーでのメディテーション活動

私の伝道活動の一つに坐禅会があります。学生は、「メディテーションはアジアの特有の文化、特にインド、中国、日本仏教に共通した“religious/spiritual practice”」と考えています。彼らの関心はその基本となる実践哲学というよりは、むしろヨガ的なリラクゼーション、または精神的解放を得る手段としてのメディテーションにあると言えるでしょう。ですから、この坐禅会の目的が、「自分とは何であろうかと、この自分をみつめることが一番大切なことで、自分（自我）の中に隠されている、もう1人の本来の自分（自己）がいることにめざめること」、などと禅的に説明すると学生は興味津々です。「忙しい」というのが日常の挨拶語になっている今日に、いまこそ、この大切な「心」をとりもどし、「真実の人間性」を育て、失われた「心」とは何か、を考え学ぶ必要性を伝えていきたいです。

このメディテーションを学問と実践の双方から教えています。学問では、日本臨済宗中興の祖である白隠慧鶴禅師（1686～1769）の仮名法語の代表作である「夜船閑話」を読んでいます。若い白隠禅師が禅病（結核ともノイローゼとも言われている）に悩んでいた時、人から教えられて、京都白河山中にいた白幽子を尋ね、内観の法を伝授され、それによ

って禅病を克服したという経緯を記したもので、健康法としての坐禅を述べた書です。この本は学生に大人気で、これを読んでから実際に坐禅をするようにしています。

実践面でいえば、二つの坐禅会を行っています。一つは UC バークレーの学生団体の一つで、他宗教を勉強して相互理解を深め、友好的関係を築いていくことを目的とするクリスチャングループがありまして、彼らの活動の一環で坐禅会をもっています。瞑想や黙想のコンセプトはキリスト教にもありますし、特にカトリックではイグナチオ・ロヨラによる「霊操」という修行があります。しかし、大変興味深いことに、このグループの学生にとって、坐禅が「自分の中にいる、もう1人の本来の自分との対話」であると、理解することが容易ではなかったのです。彼らにとっての瞑想は、その最終目的が神の意志を聞くこと、つまり神との対話にあるからです。つまり、キリスト教の場合は自分の外側に神があり、それに対して祈り、願うのに対して、仏教の場合は、特に禅は自分の内側に清浄心（澄んだ鏡のような心）があると信じ、それに目覚めることを目的とします。これは信仰と信心というアプローチの違いといえるでしょう。禅では、坐禅は自己の発見装置と位置づけます。しかし、こういった根本的な違いがあるにもかかわらず、自分の内外に「本来の自己・清浄心」や「神」といった共に超越的存在を認めるという最大公約数が、何か「共存するものが“ある”」と、坐禅をしながらも学生たちをうなずかせるのでしょうか。彼らは、ゲーテの「私の中に神がいなかったら、どうして天上の神をみることができよう」という言葉の中にこのことを感じているようです。

祈願のご案内

家内安全、厄除け、身体健全、安産祈願、社業繁栄、心願成就、等々各種ご祈願を受け付けております。

本堂安置の「摩耶観世音菩薩」さまは、お釈迦様のお母様である摩耶夫人の菩薩立像です。広大無辺の慈悲と慈愛によって人生の悪事災難を我が身が一身に受けとどめ、人々の諸々の厄難を救い、明るい幸福な人生の請来を願う一大誓願の現れです。佛母寺本尊摩耶観世音菩薩に手をあわせるとき、人は皆、慈母の深いふところに抱かれます。是非とも皆様も「摩耶観世音菩薩」さまとご縁を結んでいただきたく存じます。

祈願料金：1人¥10,000（摩耶観世音菩薩祈願小札を含む）

*ただし、摩耶観世音菩薩祈願大札をご希望の場合は、祈願料金は¥12,000となります。

*団体様で祈願をご希望の方はお尋ねください。

ご祈願のお申込は、電話、ファックス、またはウェブサイトからどうぞ。

平成23年 厄歳表 (数え歳)						
女性				男性		
昭和 25年 62歳	昭和 53年 34歳	平成 4年 20歳	後厄	昭和 61年 26歳	昭和 44年 43歳	昭和 25年 62歳
昭和 26年 61歳	昭和 54年 33歳	平成 5年 19歳		本厄	昭和 62年 25歳	昭和 45年 42歳
昭和 27年 60歳	昭和 55年 32歳	平成 6年 18歳	前厄	昭和 63年 24歳	昭和 46年 41歳	昭和 27年 60歳

※但し2月3日以前の生まれは前年となる

お知らせ

◎ 最近特に、業者と提携して寺院に住せず修行をしたかどうかよく分からないアルバイト僧侶なる者が横行しています。派遣僧侶です。佛母寺のお檀家さんまたは佛母寺墓地に埋葬されるお檀家さんには、佛母寺の住職が戒名を授け、佛母寺の住職がお通夜・お葬式・その他一切の法要を責任を持って執り行わなければなりません。もしも、お檀家さんでお葬式を出す場合、葬儀屋さんと日程を決める前に、必ず佛母寺にご一報お願い致します。出来るだけ調整をして、お通夜・お葬式を勤めさせていただきます。また、日程をすでに決めてしまった場合、できるだけ調整しますが、やむを得ない場合、有縁の臨済宗僧侶を紹介させていただきます。また、千葉県以外でお葬式を出す場合、臨済宗の僧籍をもつ僧侶を紹介させていただきます。葬儀の形態、場所にかかわらず、当寺のお檀家さん・当寺墓地に埋葬されるお檀家さんがお亡くなりになった場合、葬儀屋さんと日程を決める前に、必ず佛母寺にご一報お願い致します。東京でお通夜・お葬式を出す場合、葬儀屋さんを紹介することもできます。

◎ 佛母寺公式ウェブサイトがオープンしました。仏事法要申込、ご祈願受付、水子供養、ペット供養、墓地、永代供養塔妙峰殿に関することなど、何でもお気軽にご質問・ご相談ください。 **Website: www.butsumoji.com**

まだ多数「準備中」ページがありますが、少しずつ公開アップしていきます。

◎ お電話での寺務所受付は、9:00～16:30 までとさせていただきます。16:30 以降の電話はすべて龍源寺（03-3451-1853）へ転送されます。

◎ 今年、年回が当たっておられます方は、ご法事希望の日時が決まりましたら、お電話・ファックス、またはウェブサイトの「お問い合わせ」からメールにてお問い合わせ下さい。

次回お盆号は、7月の初旬発行予定です。施餓鬼会、お盆に関することは、次号『佛母寺だより』をお読み頂いた後にお問い合わせ下さいますようお願い致します。

おもな行事	
春彼岸会	3月20日(日)
妙峰殿施餓鬼会	7月中旬
施餓鬼会	8月7日(日)
秋彼岸会	9月19日(敬老の日)
除夜鐘	大晦日

平成23年 正当年回表	
1 周忌	平成22年
3 回忌	平成21年
7 回忌	平成17年
13 回忌	平成11年
17 回忌	平成7年
23 回忌	平成元年
27 回忌	昭和60年
33 回忌	昭和54年
37 回忌	昭和50年
50 遠年忌	昭和37年